

## ■八尾市都市基盤施設維持管理推進会議（第7回）議事録

日 時：令和5年8月4日(金) 15:00～16:30

場 所：八尾市役所 西館 4階和室 1,2

出席者：近畿大学工学部 米田名誉教授、東山教授  
八尾市都市整備部 金子部長、野添理事、米重次長  
都市政策課 北尾次長兼課長  
都市交通課 杉島課長  
都市基盤整備課 野口課長補佐、松井課長補佐  
土木管財課 藤原課長  
土木建設課 前田課長、村松課長補佐、三島係長、廣瀬、藤田  
土木管理事務所 鈴木所長  
八尾市下水道部 田中部長、堀次長、西村次長  
下水道経営企画課 斉木課長補佐（林田課長の代理出席）  
下水道管理課 高萩課長  
下水道整備課 酒井課長

以上 22 名

### ◎次第

#### 1. 報告事項

(1) 八尾市と近畿大学との官学連携の取り組み（令和4年度）について

#### 2. 議事

(1) 維持管理（行動計画）の実績評価および行動目標について 【議案1】

(2) 令和5年度の八尾市と近畿大学との官学連携の取り組みについて 【議案2】

#### 3. 意見交換

### ◎協議録（詳細）

#### 1. 報告事項

(1) 八尾市と近畿大学との官学連携の取り組み（令和4年度）について

- ・第6回八尾市都市基盤施設維持管理推進会議の開催（R4.8.2）
- ・八尾市管理対象橋梁の維持管理に関する研修会の開催（R4.12.23）

#### 2. 議事

(1) 維持管理（行動計画）の実績評価および行動目標について【議案1】

＜事務局：説明＞

- ・八尾市都市基盤施設維持管理基本方針を具体化させるにあたり、目標やスケジュールなど行動内容を示したもので、前回の推進会議までは、昨年度の維持管理（行動計画）の実績評価と今年度の維持管理（行動計画）の目標を別々のシートに入力していたが、今回より1枚のシートにまとめている。主だった実績について説明する。
- ・都市整備部の点検体制については、参考資料3にて実績集計表でまとめている。
- ・都市整備部の個別施設計画の策定状況については、参考資料4にてスケジュール表でまとめている。

※各課の取り組みを代表して4課の所属長より報告。

【土木管財課】

- ・歳入の確保のため、機能のない法定外公共物（里道・水路）の払下げを13件おこなった。今後さらに売却を促進するために人員の確保や現地調査をするための委託費の予算を確保して、対象施設の調査等を引き続き進めていく。
- ・山手13河川及び大正川に架かる不明橋梁の調査を再度行い、取扱い方針の検討をおこなった。今年度は大正川沿いの不明橋梁について沿道や町会長に使用状況の調査をおこなうことを考えている。

【土木建設課】

- ・道路照明灯136基の点検を実施した。今年度は昨年度の136基の点検結果をふまえ、手法を変え、過年度に点検を実施した標識と共に個別施設計画を策定する。
- ・令和4年度に橋梁点検を実施し、全橋梁の点検が完了した。令和5年度は、横断歩道橋9橋の点検を実施し、令和6年度に橋梁と併せて、449橋の個別施設計画を策定する。
- ・公園遊具の健全度調査を実施した。今年度は、公園施設の長寿命化計画を策定する。
- ・八尾市と近畿大学理工学部との官学連携の取り組みとして、推進会議を1回、近大協議を4回実施した。市職員による橋梁の維持管理に関する研修会（R4.12.23）を現地実習にて実施した。今年度は、本日開催の推進会議と座学による研修会の開催を予定している。

【土木管理事務所】

- ・エレベーター、エスカレーター、カーブミラー、防護柵について、個別施設計画を策定した。エレベーターは月1回、エスカレーターは月2回の点検を実施する。
- ・路面性状調査を実施した。今年度は、舗装の個別施設計画を策定する。
- ・ポンプ点検を実施し、今年度は、排水機能が低下しているポンプの更新を予定している。
- ・公園の樹木の緊急点検を実施した。今年度は、点検で把握した枯木等の要処置樹木（79公園、143本）の管理方法を検討する。

【下水道管理課】

- ・管路施設の点検調査を実施した。今年度は、管路施設部分の修繕に必要な個別施設計画を策定する。
- ・啓発施設（見える下水道公園）の老朽化が著しかったことやコロナの影響で見学できなかったため、さび止めや看板のリニューアルを実施し、7月に見学者を迎えた。

○意見・質疑

- ・データベースはどのように活用している？（東山教授）  
⇒いつどんな場所でどのような要望があるか把握し、事前に他課との情報共有を図る。（鈴木所長）  
⇒後発では、LINEを使っている自治体もある。（金子部長）

(2) 令和5年度の八尾市と近畿大学との官学連携の取り組みについて〔議案2〕

- ・ 橋梁日常点検の実施（10月～12月）
- ・ 講義形式による「八尾市管理対象橋梁の維持管理に関する研修会」の実施（1月頃）

○意見・質疑

- ・ 研修会のメニューはどのようなものか？（東山教授）  
⇒ 災害科学研究所と内容を詰めているところである。（三島係長）
- ・ II判定の中でも、III判定に近いものから修繕するなどの視覚化は考えているか？  
⇒ 同じような内容のものを考えている。（三島係長）
- ・ 変わった橋梁の損傷はあるか？（東山教授）  
⇒ 損傷がひどい橋梁はあるが、特段変わった傷み方をしているものはない。（前田課長）

○報告事項（事務局）

- ・ 「八尾市都市基盤施設推進会議設置要綱」の改正を予定している。
- ・ 改正の内容は、職員の負担軽減や業務改善を目的とし、会議の運営手法や構成メンバーの見直し等を含めている。
- ・ 構成メンバーから意見をいただき、今年度中を目処に改正案を作成する。

3. 意見交換

- ・ 橋梁の点検や修繕に掛かる委託費・工事費の国費の内示率が低く、修繕できる橋梁の数を減らさざるを得ない状況の中で、国の動きなどはあるか？（前田課長）  
⇒ 直接は聞いてないが、国費を減らす動きも今後出てくるかもしれない。（東山教授）  
⇒ 同じ判定結果であっても、致命的な損傷の有無で修繕する橋梁を選択するのも手かもしれない。（米田名誉教授）
- ・ 市町村のIII判定の橋梁修繕は進んでいるか？（東山教授）  
⇒ 八尾市の1巡目点検によるIII判定の橋梁修繕は完了している。（前田課長）
- ・ 補修工事が完了した直後の橋梁の点検はフルスペックでおこなうべきか？（前田課長）  
⇒ 他の市町村も同じような問題があると思うので、管理する橋梁を減らしていくビジョンも加味しつつ、国の状況を見て対応していくべきである。（米田名誉教授）